

第1回 熊本大学医工連携フォーラム

日時：平成25年5月29日（水）15:00～18:30

会場：熊本大学医学部 医学総合研究棟3階 講習室

プログラム

スケジュール	演題	演者	所属
15:00-15:10	主催者代表挨拶	原田 信志	イノベーション推進人材育成センター長
	開会の辞	竹屋 元裕	大学院生命科学研究部長
15:10-16:00	基調講演 先端医療・医学研究における材料技術の重要性 - 医工薬連携を通して -	田畑 泰彦	京都大学再生医科学研究所 生体材料学分野 教授
	【要旨】先端医療とそれを科学的に支える医学研究には、多くの材料技術が用いられている。過去33年間にわたって生体材料（体内で用いる、あるいは生体成分や細菌などと触れて用いる材料）の研究開発を行ってきた。この分野は、治療に用いられる外科材料や人工臓器、ドラッグデリバリーシステム(DDS)に加えて、生物医学のための研究ツールの開発も含まれる。工学、医歯学、薬学の境界融合領域である。本講演では、再生医療についての具体例を挙げながら、先端医療・医学研究における材料技術の重要性について議論したい。		
16:00-17:00	医工連携の事例紹介		
	1. 工学者による医療現場の価値創造の重要性について	大隈 恵治	オオクマ電子株式会社 代表取締役社長
	2. 医と工の狭間で25年	村山 伸樹	大学院自然科学研究科・工学部長
	3. 熊本から世界へ：Physical Medicineの研究開発 - 経済産業省平成24年度課題解決型医療機器等開発事業採択プロジェクトの紹介	甲斐 広文	大学院生命科学研究部(薬学系) 教授
	4. 整形外科・リハビリ領域における医工連携	水田 博志	大学院生命科学研究部(医学系) 教授
17:00-18:25	ポスターディスカッション (ニーズとシーズの情報交換会)		
18:25-18:30	閉会の辞	高島 和希	大学院自然科学研究科長

主催：大学院生命科学研究部、大学院自然科学研究科、イノベーション推進人材育成センター

共催：熊本県工業連合会

連絡先：生命科学系事務 Tel: 096-373-5657 E-mail: ski-shien@jimu.kumamoto-u.ac.jp

自然科学系事務 Tel: 096-342-3530 E-mail: szk-kenkyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp